

《社会福祉法人 仁育会 経営理念》

地域との連帯を深め信頼される社会福祉施設としての確立と、安心と安全を守るゆとりある生活支援を目指します。

《青梅療育院運営方針》

1. 利用者から安心されるサービスの提供
1. 生活の安全を守るサービスの提供
1. 要介護度に応じた適切なサービスの提供

＝ 6月の行事計画＝

- 5日（月）誕生会
- 16日（金）選択食
- 18日（日）父の日
- 20日（火）2階理美容
- 23日（金）選択食

27日（火）3階理美容



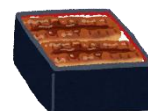
＝ 7月の行事計画＝

- 3日（月）誕生会
- 7日（金）七夕（三食ソーメン）
- 13日（木）迎え火
- 14日（金）選択食
- 16日（日）送り火

18日（火）2階理美容

21日（金）選択食（うな重）

25日（火）3階理美容



＝令和4年度事業執行結果について＝

5月26日に当法人の理事会が開催され、令和4年度の事業報告並びに決算審議が行われました。令和4年度は定められた事業計画及び予算にもとづいて、適正な業務の執行に努めてまいりましたが、新型コロナウイルスの第7波感染防止の観点から、屋外での行事はすべて中止とし、施設内でのボランティアの受け入れも中止せざるを得ない状況から、予定していた事業計画を全うすることが困難な1年間となりました。そのため各階ごとに分かれての室内での運動会や、文化祭など密にならないよう配慮しながら、工夫を凝らして催し事を行ってきました。

新型コロナウイルスの感染状況としましては、職員やその家族に陽性者がでることはありましたが、施設内での感染防止に努めたところ職員から利用者様への感染は防ぐことができました。しかしながら、前年度後半の2月から3月にかけて発生した施設内クラスターの影響により、年度当初の4月から5月における20名近い入院者の増加によって、年間を通しての実質入居者数（稼働率）は100名に対して93.8%となり、今までにない低率となってしまいました。これに伴い事業収益にも影響が出てしまっております。

令和4年度は事業方針に「青梅療育院の目指すもの」を掲げて、各部署の職員が口腔ケア・水分補給・ポジショニング・リハビリの強化を図ることとし、利用者様の体調維持管理に重点を置いて、入院者の削減を目指してまいりましたが、徐々にその成果が見られるようになっております。今年度は更なる業務改革に向けて人材の育成向上を目指し、研修や勉強会の機会を増やしていくことにしています。

特に施設の良い点として職員の退職者が他の施設と比較しても、極めて少ない人数となっており、業務への影響には心配なく運営することができました。

一方で年度後半からの急激な諸物価の高騰によって、電気料金や食材料費において予算を25%も上回る支出超過となっており、予算の不足分の一部を本年度4月からご家族の皆様にご協力をお願いしている次第です。

このような物価高について東京都に対して補助金の要求をしておりますが、利用者様へ毎日提供する食事に関しましては、健康維持のため摂取カロ

リーを制限することは絶対に出来ませんので、全体の事業運営において常に適切な介護サービスの提供が出来るよう、より良い対策を図っていくことにしております。

理事会において事業執行の結果について承認されましたが、特に急激な諸物価の高騰により非常に厳しい事業運営に直面しており、職員全体の努力によって利用者様の生活安定のために、更なる努力に精励するよう指摘がありました。

端午の節句茶話会

5月5日は端午の節句！！男性陣だけではなく、女性陣も茶話会を楽しみました(^_^)/



新茶を楽しむ会！！

新茶の季節到来！！
梅雨入り前の清々しい季節！
この日は施設内の東屋で新茶を楽しみました！

